

CIM、8件に拡大

千曲川荻原樋門など 詳細設計など 発注業務円滑化へ施策

北陸地方整備局は30日、13年度発注業務の円滑な執行を実現するための施策を発表した。国土交通省が普及を目指す建設生産システムに3次元モデルを活用するコンストラクション・インフォメーション・モデリング（CIM）は、試行件数を拡大する。12年度は能越自動車道中波2号跨道橋詳細設計他業務（パシフィックコンサルタンツが担当）の1件だけだったが、13年度は8件に拡大する。千曲川の荻原地区樋門詳細設計のほか、道路、河川構造物の設計7件に適用する。

高度な技術力を求める 予定価格1000万円以下、プロポーザル方式や総合評価方式（価格点1対技術点3、価格点1対技術点2）の業務については、原則、設計共同体の参加を認めるよう徹底する。

さらに、プロポーザル方式と総合評価方式で、企業の業務成績評価期間をこれまでの「過去2年」から「過去4年」に拡大する。

このほかの主な項目は次の通り。

【業務の品質確保】

▽業務の内容や難しさに応じて、適切な発注方式を選定し、高度な技術力を重視する業務はプロポーザル方式や総合評価方式を採用▽ダンピング対策を強化、継続では、

このほかの主な項目は次の通り。

【業務の生産性向上】

▽技術提案書提出者数の絞り込み（10者から5～7者程度）、ヒアリング省略を継続▽特記仕様書（打ち合わせ、関係機関協議、現地踏査等の回

数 の条件明示を徹底
【地元企業の受注機会に配慮】
▽比較的規模が小さく

【建設ICT】

- | | | | |
|----------|--------|---------|-------|
| 1. 日経 | 2. 朝日 | 3. 毎日 | 4. 日経 |
| 4. 読売 | 5. 朝日 | 6. 毎日 | 5. 日経 |
| 7. 産経 | 8. 朝日 | 9. 毎日 | 6. 日経 |
| 10. 中部経済 | 11. 建設 | 12. 日本海 | 7. 日経 |
| 13. 建設通信 | 14. 信濃 | 15. 日本海 | 8. 日経 |
| 16. 建設工 | | | 9. 日経 |

平成25年 5月31日（朝）・夕） P 10

建設工業新聞

地域に密着した業務は、総合評価方式簡易（特別）型を一部改良して継続▽比較的規模の小さい業務は、地域要件、地域精進の設定を徹底

【その他】

▽予定管理技術者による技術提案ヒアリング時に予定担当技術者が同席できる取り組みを継続して試行。